

'00全日本
ダートトライアル
選手権

CMSC
岐阜

松原 実選手

AIII
クラス

シリーズチャンピオン!

CMSC
広島

岩根 つもる選手

CII
クラス

シリーズチャンピオン!

全日本ダートラ選手権の終盤戦。AIIIクラスで第6戦に今季チャンピオンを決めたCMSC岐阜の松原実選手は、第8戦では6位とふるわなかったものの第9戦において、見事トップでフィニッシュ。シリーズ初制覇を有終の美で飾りました。CIIクラスでは、第8戦、ポイントリーダーであるCMSC広島の岩根つもる選手が、先行車リタイヤによる再スタートでエンジントラブルに見舞われ6番手となったものの、ライバル車の2位入賞によってその時点で今季のチャンピオンが確定。劇的な展開で初のシリーズ制覇を達成しました。第9戦では岩根選手をはじめ転倒車が続出。波乱の幕切れで今季を終了しました。

CMSC岐阜 松原 実選手のコメント

はじめに今回のチャンピオン獲得にあたって、関係者の皆さんやサポートしていただきましたメーカー各社様に心から感謝いたします。私がこのダートラに参加するようになったのは、95年オールスターダートトライアルを観に行っただけでした。自分もこんな風に走れたらいいなと思い、ダートラの門を叩きました。そんな私がこのよう



松原選手、第9戦の走り。

名誉あるクラスチャンピオンを取れたのも、周りのスタッフのおかげだと思います。チャンピオンを取ったのは私ですが、この勝利はみんなで戦った成果だと思っています。2001年は、クルマも私もいっそうリファインし、悔いの残らないような結果を残していきたいと考えています。来たる21世紀は今年以上にいっそうがんばります。

CMSC広島 岩根 つもる選手のコメント



20世紀最後の年に、ダートラ人生23年目にして初の全日本チャンピオンを獲得することができ、うれしく思います。今年からCIIクラスへ変更し、最初はクルマも

こずりましたが、第3戦の信州での初優勝に始まりシリーズ中盤での3連勝など、ドライバーとして最後の年を飾るには最高の状態で残り3戦となりました。仙台では気持ちのよい勝ち方ができ、残り広島と門前。広島では2本目になると再出走でエンジントラブル。かなり不満ながらシリーズを決め、プレッシャーなく、いざ自分の最高の走りを、と思った最終戦門前。結果は…。1ヒートスタート直後1コーナーで4回転。ひさびさの転倒。シリーズチャンピオン獲得で引退…。のはずだったのに「わしゃ、こんなじゃ、気持ちよー引退できん!」ということで、もう1年新たな気持ちでシリーズを戦っていきたいと思いますので、皆さんよろしく願いたします。



岩根選手、第8戦の走り。

CMSC会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は全日本選手権等においてチャンピオンを当CMSCから3人と1チームも出すことができました。他にも輝かしい成績を残して充実した年となりました。昨年は全国大会がない年なので各支部を積極的に訪問し、会員の皆様と貴重な意見交換することができました。一部、行かれ

なかった支部には大変申し訳なく思っています。新しい世紀を迎え、今年も皆様の一層のご活躍を期待しています。なお、全国大会は8月25日(土)福島県二本松市のエビスサーキットで開催する予定です。お会いできることを楽しみにしています。 2001年 元旦 CMSC会長 外川一雄



'00ダートトライアル選手権 シリーズ成績 (全日本・JAFカップ・地区戦)

2000年も全国でCMSC勢が大活躍!!

20世紀最後の年も、全国のCMSC会員の皆さんが、各地でめざましい活躍をみせました。全日本選手権のAIIIクラスでチャンピオンを決めたCMSC岐阜の松原選手を筆頭に若手が健闘。着実に力をつけてきました。ベテラン勢でも念願の全日本シリーズ初制覇を達成したCMSC広

島の岩根選手の活躍などが、健在ぶりを大いにアピールしました。その他にも、全日本AIVクラスでの群馬・荒井信介選手や札幌・宝田芳浩選手などが昨年に続き上位に入り、安定した力を発揮。地区戦でも多くの会員がチャンピオンを獲得するなど、CMSC勢の実力を大いに見せつけました。

藤原雄一郎選手(大阪)AIIIクラス



全日本:7位

荒井信介選手(群馬)AIVクラス



全日本:2位

宝田芳浩選手(札幌)AIVクラス



全日本:3位

赤羽政幸選手(栃木)AIVクラス



全日本:6位/関東C地区:チャンピオン/JAFカップ:5位

吉村 修選手(大阪)AIVクラス



全日本:8位/近畿E地区:チャンピオン/JAFカップ:チャンピオン

三枝光博選手(岐阜)AIVクラス



全日本:9位

柳田正文選手(岐阜)AIVクラス



全日本:13位/中部D地区:チャンピオン/JAFカップ:6位

原 利之選手(岐阜)CIIクラス



全日本:7位/中部D地区:4位/JAFカップ:2位

秋間忠之選手(座間)CIIIクラス



全日本:10位/関東C地区:2位/JAFカップ:9位

河内 渉選手(広島)Dクラス



全日本:4位/中国F地区:2位(AIVクラス)

石井宏和選手(座間)Dクラス



全日本:10位/関東C地区:2位/JAFカップ:4位

赤松裕子選手(千葉)Lクラス



全日本:2位/JAFカップ:2位

小出久美子選手(座間)Lクラス



全日本:4位/JAFカップ:5位

笠原章夫選手(群馬)AIVクラス



関東C地区:2位/JAFカップ:2位

谷津良嗣選手(福島)AIVクラス



東北B地区:4位/JAFカップ:7位

鈴木正孝選手(福島)CIIクラス



全日本:7位/東北B地区:2位/JAFカップ:7位

三枝重光選手(岐阜)CIIIクラス



中部D地区:チャンピオン/JAFカップ:7位

三木利夫選手(香川)AIIIクラス



四国G地区:2位

外山佳樹選手(香川)AIIIクラス



四国G地区:3位

'00ダートトライアル選手権 シリーズ成績 (全日本・JAFカップ・地区戦) 続き

松原 宏選手(香川)AIIクラス



四国G地区:4位

西村謙一選手(鹿児島)AIIクラス



九州H地区:5位

西 健一選手(道北)AIIクラス



北海道A地区:3位

伊藤祥充選手(浜松)AIVクラス



中部D地区:4位

渡辺公善選手(福島)CIIクラス



東北B地区:4位

青沼達也選手(帯広)AIVクラス



北海道A地区:チャンピオン

栗本選手(岐阜)Dクラス



全日本:7位/中部D地区:5位

佐藤幸子選手(福島)Lクラス



JAFカップ:6位

矢本裕之選手(大阪)AIVクラス



近畿E地区:2位

●さらに黒田真次選手(広島)AIVクラス 中国F地区4位に入賞。三好 工選手(島根)AIVクラス 中国F地区6位に入賞を果たしています。

'00ラリー選手権 シリーズ成績 (全日本・地区戦)

鎌田選手 全日本3連覇!!
4度目のシリーズチャンピオン!

全日本ラリー選手権4WD部門のBクラスは、ポイントランキング首位のCMSC道北の鎌田選手が絶好調。第9戦では序盤から激しくトップ争いを繰り上げながら、14本のSSのうち11本を制して優勝。続く第10戦では、マフラーを潰すというアクシデントを負いながらも、リタイヤ車からマフラーを借りて直すなどレースに賭ける意気込みの強さを見せつけながらレースを展開。最後はライバル車のリタイヤもあり、落ち着いた走りで首位でフィニッシュし、第8戦からの3連続優勝を決めるとともに、全日本シリーズ3連覇という偉業を達成しました。Cクラスでは、CMSC埼玉の田口選手が第10戦で2位に食い込むなどの健闘をみせ、全日本シリーズ第5位に入賞。また地区戦では昨シーズンに引き続き、CMSC千葉の丹羽選手の活躍が光りました。



暴れる車体を抑える鎌田選手の走り。

田口幸宏選手(埼玉)Cクラス



全日本第10戦:2位/全日本シリーズ:5位

CMSC道北 鎌田 豊選手のコメント



皆さんお元気ですか?おかげさまで3年連続全日本ラリーチャンピオンの座を獲得することができました。しかし昨年は、こ

こ3年のうちで1番大変なシーズンでした。前半戦は、優勝かりタイヤかというレースが何戦も続き、後半の連勝によって何とかチャンピオンを防衛することができた次第です。また、若手の成長も著しく"打倒 鎌田"を合言葉に全力で挑んでくるので、非常に楽しい勝負をすることができました。今年も防衛をめざしがんばります。

松井孝夫選手(愛知)Cクラス



全日本第10戦:5位/全日本シリーズ:7位

渡辺俊昭選手(山形)Bクラス



全日本第9戦:6位/全日本第10戦:3位

丹羽浩道選手(千葉)Cクラス



関東C地区:チャンピオン

小川選手、最終戦でシリーズ制覇! 2年連続のチャンピオンに!

スーパー耐久レースのクラス2で、第6戦2位、第7戦優勝と好調をキープするCMSC山形の小川日出生選手が、シリーズポイント2位で臨んだ最終戦。安定した走りで2位に入り、見事逆転で年間王座を獲得。シーズン2連覇を達成しました。

CMSC山形 小川日出生選手のコメント

スーパー耐久レースで2連覇できたなど恐れ多くて思ってもみなかったことが現実のこととなり、我ながらうれしきよりもただただ驚いております。最終戦を目前にしてレギュラーメンバーが次々とトラブルに見舞われ出場できなくなった時には、ほとんどレースをあきらめかけました。突然の要請に快く助っ人をかけて出てくれた福山英朗さんと小林日雄さん。お二人には感謝の一言に尽きます。本当にありがとうございました。前年度チャンピオンというプレッシャーを背負ってスタートした前半は散々な成績でしたが、3連覇となった十勝での優勝の後には、神にも味方されチーム内にも新たなファイトが湧き出してきました。クラブ員の強力な結束が勝因のひとつ



写真上、第7戦の走り。写真右、表彰台での小川組

であったことは、まぎれもない事実です。来年は今年以上のプレッシャーを負うわけですが、チャンピオンの名に恥じないよう、そして21世紀の最初のチャンピオンをめざし、全力を尽くして戦っていくつもりです。そしてまたモータースポーツを愛する一人として、全国のCMSC会員の皆さんの新たな参加を期待するものであります。



2000JAFカップジムカーナ・地区戦シリーズ成績

CMSC勢、東北地区を1位から4位独占!

全国のジムカーナファンが一堂に会する「2000JAFカップジムカーナ」が開催され、CMSC勢として青森から工藤選手と宇野選手、福島から佐藤選手と高野選手が出場しました。4選手は、東北地区シリーズの上位4位までを独占しています。

工藤裕史選手(青森)CIIクラス



東北B地区3位/JAFカップ:5位

高野 聡選手(福島)CIIクラス



東北B地区2位

添田・川口組(栃木)



クラス2:5位

写真左、川口選手

宇野慶一選手(青森)CIIクラス



東北B地区チャンピオン

佐藤義隆選手(福島)CIIクラス



東北B地区4位

'00ラリーアート・ドライバー・オブ・ザ・イヤー受賞!

CMSC道北・鎌田豊選手 全日本ラリー4WD部門 Bクラス チャンピオン

CMSC岐阜・松原実選手 全日本ダートトライアル AIIIクラス チャンピオン

CMSC広島・岩根つもる選手 全日本ダートトライアル CIIクラス チャンピオン

CMSC山形・小川日出生選手組 スーパー耐久シリーズレース クラス2 チャンピオン

12月1日(金)ホテル東京にて、'00ラリーアート・ドライバー・オブ・ザ・イヤーの国内選手の表彰式が開催され、CMSCからは3人と1チームの選手が選ばれました。道北の鎌田選手は3年連続4回目の受賞。山形のチームRSオガワ・小川選手組も去年に引き続き連続受賞となりました。岐阜の松原選手、広島の岩根選手はうれしい初受賞です。



右から2人が鎌田選手、4人が松原選手、5人が岩根選手、左の3人が小川選手組(左から細野選手、小川選手、伊藤選手)。右、ラリーアート北根社長。

CMSC群馬 大谷昌弘 群馬三菱自動車販売(株)
UAE2000 デザートチャレンジ参戦記

日本では味わえない貴重な体験。

今回、海外ラリー「U.A.E. 2000 デザートチャレンジ」の「三菱ディーラーメカニック」の一員として、篠塚健次郎選手車、フロントネ選手車、クライシシュミット選手車のチームに参加してきました。私は群馬三菱のディーラーサービスマンであり、CMSC群馬でモータースポーツに携わっているため、今回のラリーを2方向から体験できたと思います。やはりサービスマンとしては、足回りやエンジンルーム、ましてやドライバーシート、ナビパネルなど、競技車両の見るものすべてが初めてであり、フランス人メカニックから指示を受けても、作業をするのにはかなり戸惑いました。今回のラリーでは、車両トラブルがあまりないことでした。自分としては作業は決して楽とは言えませんが、ラリー中のテント生活や砂嵐の中での作業、砂だらけの食事など、日本では体験できないことばかりでした。今回勉強になったことは、ドライバーの集中力は本当にすごいということです。朝8時から昼2時まで走りっぱなし。しかも昼頃は外気温は30~40度にもなり、車内はそれ以上。さらに砂丘を越える時の衝撃は相当なもので、そんな状況でのドライビングは想像を絶する過酷さがありました。また転倒で明日からリタイヤと思っていた車が、フロン



写真上、サービスに励む大谷選手。
写真左、篠塚選手(左上)と大谷選手。(右端)

トガラスがない状態でドライバーがゴーグルをかけて走り続けていた姿に、自分の競技に向かう姿勢を反省させられました。最後に、今回2週間もの参加を認めてくれた会社に感謝するとともに関係各社様にお礼を申し上げます。

トガラスがない状態でドライバーがゴーグルをかけて走り続けていた姿に、自分の競技に向かう姿勢を反省させられました。最後に、今回2週間もの参加を認めてくれた会社に感謝するとともに関係各社様にお礼を申し上げます。

CMSC島根
日本海ジムカーナ第3戦 OOC CMSC島根チャレンジカップ2
10月8日

雨ニモマケズ、風ニモマケズ、大地震にも!?

競技会経験の豊富な我がCMSC島根の面々も、今回だけは参りました。何と大会前々日に「鳥取県西部大地震」が発生したのです。崖崩れや道路の亀裂、崩落で会場へのルートは寸断され、電話回線はパンク状態。開催はもちろん、参加者やスタッフの安否も気遣われる状況で、果たして競技会は開催できるのか、参加者は無事に会場までたどり着けるのか?と大変不安でした…。しかし当日になって大ビックリ!会場周辺のみまわりの無傷。道路網の混乱をよそに誰一人遅刻者もなく、ジムカーナ野郎たちの根性を見たような気がします。あと、過去11年晴天オンリーだった当クラブの大会で初めて雨が降ったのと、放

送機材が当日壊れたのも、まあ「些細」なトラブルのうちでしょう。

こうして「2000年CMSC島根・チャレンジカップ」



プ2」は94台の走行をノートラブルで終え、選手、ギャラリーともに納得の一日でした。余談ですが競技終了後の夜、マグニチュード6の余震で、再び会場周辺の道路が不通になったのは、もう奇跡としか言いようがありません。

(CMSC島根 古藤浩美)

CMSC帯広 11月12日
20世紀最後の練習会報告

11月12日(日)にダートラ練習会を開催しました。昨年より日程が遅れたこともあり天候が心配されましたが、当日は一日中穏やかな天気にも恵まれました。参加台数は30台を数え、20世紀の最後を飾るにふさわしいにぎやかな練習会となりました。また、北海道ジュニアラリーシリーズで、猿谷洋文/鈴木直子組がチャンピオンを獲得しました。(CMSC帯広 中村洋次)



CMSC広島
CMSC広島ダートトライアル2000
12月10日

参加145台!大盛況の最終戦。

20世紀の中国地区ダートラの最終戦のためか、広島・山口ダートラシリーズとしては今年最多の145台のエントリーを集め、大いに盛り上がりました。しかし今回スタッフは、色々あってたったの16人。受付・車検と、全員大パニックでした。何とか乗り切って競技が始まると、転倒は1台、トラブルも2台程度と順調に進行し、予定通り3時には終了と上出来の運営。AIVクラスでは、「わ

しゃ、タイトルがかかるとるんじゃ!」と、オフィシャルを蹴って参加した黒田、佐々木選手にスタッフ全員の期待が…。しかし優勝したのは、2トライともベストタイムを叩き出した西田可選手でした。そぼの国や海を渡ってうどんの国からやってきたCMSCの方々大変感謝いたします。また本部からはCMSC外川会長、須賀グループ長におこしいただきました。外川会長には大会会長も務めていただき大変感謝いたします。(CMSC広島 平原和幸)

コトの連続コーナー 最終回

CMSC島根 古藤 浩美

といたに 中年の主張

21世紀の開幕です

各社カー スポーツ系 車両の開発が進んでいます

N社: ゴン社長 フラッグシップモデルの開発に力を入れています

M社: ニュートラルな開発で、モータースポーツに力を入れています

T社: F1にサポートを受け、モータースポーツに力を入れています

「これは、ハートビート・モータースポーツ」

「期待しています」

「それでは!」

CMSC仙台
'00もみじがりトライアル
11月19日

熱い走りと芋煮(?)で寒さを吹き飛ばす大会に!

11月19日(日)恒例のもみじがりトライアルが仙台ハイランドダートコースで開催されました。前日のコース設定は、台風が来たような雨風、そして夕方からの雪。明日開催できるか心配でした。エントリー台数は103台となり、中止なんてできないと、ただただ明日天気になってくれと願っていました。明けて大会当日。会場に向かうにつれて、とんでもない路面になっていました。昨夜の雪が凍ってしまいハイランドへ行くのがやっと。まして途中でスリップ事故まで発生し最悪の状況でした。何とかダートコースまでたどり着き、AM9:40開会式。大会会長の挨拶で始まり、ドライバーズ・ブリーフィング。そしてAM10:00、競技開始。平行して恒例の芋煮も作り始めました。競技の方は、順調に進み1トライ目が、AM11:30

に終了。インターバルを30分おいて、2トライ目開始。凍った状態。ところがタイムは、1トライ目より上がっている。「この人たち、人ではない」と思いました。2トライ目もトラブルなく順調に終わり、皆さん芋煮に舌づつみを打ってました。そして表彰式。人賞した方たちが呼ばれ賞品をもらう顔は、みんな子供のようでした。最後に、今回賞品を提供してくれました関係各社の皆さま、およびスタッフの皆さま、どうもありがとうございました。また今年、スノートライアルを2月25日(日)に開催いたします。(CMSC仙台 会長 佐藤政一)



写真上、恒例の記念撮影。白く見えるのが雪。写真下、もみじがりのはずが雪と泥にまみれて競技開始!

CMSC大阪
ホワイト&CMSC大阪ナイトラリー2000
10月14,15日

初の共催イベントで大成功!

近畿地区のJAF地方選手権およびJMRCチャンピオンシリーズ最終戦。スタートは兵庫県水

上郡・市島町役場。滑りやすいハイスピードコースに、手慣れた選手といえども一苦労の様子。し

かしエントラントには好評で、楽しんでもらったようでした。(CMSC大阪 会長 岩下利勝)

CMSC香川
'00 CMSCアストロトライアルII
10月1日

外山選手、最終戦を制する。



外山選手の走り。

四国地方ダートトライアル選手権の最終戦として「'00CMSCアストロトライアルII」を主催しました。エントリーは53台と少なかったものの、参加選手の熱い走りで大いに盛り上がりました。第1戦で選手権初優勝を遂げた当クラブの外山選手は、最終戦の今大会でも見事優勝。オー

ルスターの出場権を獲得し、充実したシーズンとなったようです。来年はシリーズチャンピオンを狙うとのこと。ぜひがんばってもらいたいと思います。(CMSC香川 白井 修)

CMSC座間

初心者練習会報告

女優大西結花も参加がきっかけ!?

全日本ダートトライアル参戦のトップ選手から超ビギナーまでいるCMSC座間では、参加型モータースポーツ・ダートトライアルの底辺拡大の活動として、「初心者体験同乗ダートトライアル練習会」を丸和オートランド那須にて毎年10回ほど開催しています。また、JAF公認

準国内競技会にも初心者クラスを設け、多くの方々に参加していただきやすいようにしました。そのかいあって、今年2回開催したイベントは大盛況でした。当クラブ員の女優・大西結花さんも練習会への参加がきっかけで、全日本ダートラに参戦しました。来年もダートラ練習会、

JAF公認準国内競技会を例年通り予定しています。これからもクラブ員一同参加型モータースポーツ・ダートトライアルを通して、楽しくクラブ活動を続けていきたいと思っています。

(CMSC座間 小出久美子)

'00チャレンジカップ

福島vs座間のデッドヒート、続く!

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
福島	622	845	864		2331
座間	753	688.5	669		2110.5
広島	450	524	455		1429
帯広	470	430	475		1375
岐阜	324	228	523		1075
香川	435	309	245		989
栃木	295	331	306		932
青森	320	273	198		791
群馬	306	216	249		771
道北	0	567	160		727
大阪	368	160	96		624
山形	56	509	24		589
浜松	177	95	107		379
岩手	75	102	163		340
千葉	0	0	336		336
島根	107	79	143		329
鹿児島	160	36	40		236
南茨城	105	69	45		219
埼玉	95	62	49		206
秋田	111	60	0		171
札幌	0	138	0		138
愛知	25	28	34		87
仙台	73.5	12	0		85.5

首位は福島。それを追う座間という展開は変わらず。広島 前回10位からの大躍進。香川、栃木と三つどもえの争いと帯広の3位争いも僅差に詰まってきました。5位の岐阜は、なっています。さあ、次回の最終順位に注目!

●ラリー・ドライバー部門			●ラリー・ナビゲーター部門			●ダートトライアル部門			●ジムカーナ部門			●レース部門		
鎌田 豊	道北	178	鈴木直子	帯広	118.5	小出久美子	座間	583	高野 聡	福島	204	小川日出生	山形	211
二野下幸夫	広島	164	須田 力	秋田	70	秋間忠之	座間	508	壺田一也	青森	198	添田 正	栃木	144
猶谷洋文	帯広	123.5	中村洋次	帯広	65	石井宏和	座間	434	宇野慶一	青森	148	小暮吉則	栃木	144
森 新次	香川	110	吉田俊彦	岩手	62	吉村 修	大阪	372	葛西 満	青森	126	細野智行	山形	110
田口幸宏	埼玉	100	安波広通	鹿児島	46	赤羽政幸	栃木	367	長内 豊	帯広	105	伊藤勝一	山形	90
近藤隆行	秋田	70	板垣達也	帯広	45	鈴木正孝	福島	354	斎藤幸二	福島	94	川口法行	栃木	73
玉熊孝次	岩手	62	鈴木和人	道北	40	赤松裕子	千葉	336	高橋和雄	帯広	92	内堀篤史	栃木	73
青沼達也	帯広	61	松尾樹成	道北	40	岩根つもる	広島	307	青沼達也	帯広	84	松井猛敏	山形	64
富谷利幸	香川	60	柁沢宏之	青森	30	河内 涉	広島	300	佐藤義隆	福島	84	人見俊一	山形	45
板垣達也	帯広	48	工藤克憲	青森	30	西 健一	道北	285	安部幸延	島根	77	バ'アリ三島	栃木	44

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア	
ポイント	A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
	B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

A: <ラリー>ダートトライアル、ジムカーナ、JAF全日本選手権(含むレディースクラス)、JAF地方選手権(含むレディースクラス)、JAF地区最上級ラリーシリーズ、JAFオールスターダート(含むレディースクラス)、JAFカップジムカーナ(含むレディースクラス)、A-H地区オールスターダートトライアル(含むレディースクラス)
<レース>全レース
<海外競技>FIA ASN 公認全て(含むモトクロス)
B: 上記以外